

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年2月27日
札幌市立前田北中学校

1 本年度の重点目標

- (1) 授業の工夫と授業評価
- (2) 学級力・学年力・学校力の向上 ～前田北中らしい教育活動の一層の推進～
- (3) 教職員の相互支援
- (4) 家庭や地域との関わり ～校種間・学校間の連携→小中一貫した教育の充実～

2 本年度の経営方針

- 地域に根ざした学校、活力と潤いのある学校を目指して、全教職員が専門職としての自覚と誇りをもち教育活動を推進する。
- (1) 教職員相互の協力体制を基盤とする学校運営
 - (2) 生徒一人一人を大切にされた教育活動の推進
 - (3) 保護者・地域・関係機関との連携による学校教育の充実
 - (4) 本校の文化の継承と新たな学校づくりへの意欲的な研究開発

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の取組の適切さ
学校運営	学校は教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。	A	A	A	A
	学校は各種たよりや学校ホームページで、家庭への情報発信を積極的に行っている。	A			
	学校は保護者や地域に授業や行事など教育活動を参観できる機会を適切に設けている。	A			
	学校は進路や職業について適切な指導を行い、情報提供を行っている。	A			
	学校は施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境をつくっている。	A			
	PTA組織や活動は適切である。	A			
学校関係者評価委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTA、地域が連携し、今後もよりよい環境づくりを進めて欲しい。 ・「すぐーる」を活用した情報発信は、これまでになく学校の活動が伝わりやすい。 ・防災意識のさらなる向上を目指して、災害時等の緊急対応の訓練などを行い、防災教育を進めて欲しい。 				
学習指導	学校は学習評価についてわかりやすく伝えている。	A	B	A	A
	学校は生徒の学習の様子を適切に評価している。	A			
	学校は指導方法や教材等を工夫して、わかりやすい授業づくりに努めている。	A			
	学校は生徒の学習意欲を高める授業を行っている。	A			
	学校は宿題や課題を適切に与えている。	A			
	学校は生徒の家庭学習習慣の定着に努めている。	B			
学校関係者評価委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが一つではない課題に取り組んだり、体験を通じて学ぶ機会を大切にして欲しい。 ・それぞれの生徒に合った指導を進めて欲しい。 ・新学習指導要領の改訂に向けた動きの中、今後は小中が共通理解していく必要であり、そういうことを協議していく場の設置を検討していくべき。 				

生徒指導	学校はいじめや問題行動に対して適切に指導し、規律ある生活環境をつくっている。	A	A	生徒の様子を見守りと、シャボンロクなどの活用により、いじめや問題行動の未然防止に努める。情報を共有しながら学年や学校として適切に対応していく。	A	A
	学校は生徒の基本的な生活習慣を身に付ける指導に努めている。	A		教師自身が良き手本となり、適切なタイミングで適切な指導をこれからも心がける。		
	学校は道徳や普段の生活を通して自他の心や命を大切にし、豊かな心を育てている。	A		様々な機会(朝や帰りの学活・集会など)を通して内面を育てる支援を行っていく。また、道徳の授業研究も行い、豊かな心につながる授業を行う。		
	学校は生徒の悩みや相談に親身になって対応している。	A		生徒からの相談の受け皿を広げ、生徒が話しやすい雰囲気をつくり、生徒の話をしっかり受け止める。アンテナを高くはり生徒の状況に気を配る。個々の生徒とゆっくと相談できる機会として、年2回の教育相談を継続する。		
	生徒会活動や学校行事は充実している。	A		生徒会活動など、生徒主体で進められるよう工夫し、学校行事を通して、生徒一人一人が達成感を感じられ、自己の成長を感じられるようにサポートしていく。生徒にとっての居場所がある学校となるよう、生徒一人一人に目を向け細やかな指導を心掛けたい。		
	学校は生徒の意欲的な生徒会活動や学校行事への参画を促している。	A				
学校関係者評価委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での連携や計画、実行を通じ仲間意識や課題を乗り越えた達成感を味わう経験を積んでいけるよう支援して欲しい。 ・今後も、生徒にとって何でも相談できる学校であって欲しい。 ・生徒会と児童会のオンライン交流は、子どもたちにとって実りの多い時間であった。今後も継続して欲しい。 					

4 その他 学校関係者評価委員からの意見

<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価のPTA活動については、九割以上の方々に肯定的なご回答をいただいていることは安心できています。ただ、令和8年度からの組織の動きや入会率など、色々な変化が出てくることに柔軟な対応をしていけるよう、より一層学校との連携を深めていきたいと考えています。 ・学校へ来るのが楽しいと感じる生徒が、これからも増えていくことを願っている。 ・4月より自転車の交通違反の罰則が改定となることもあり、学校でも安全指導をお願いしたい。
--